

## 特長

- 走行中のギアポジションをデジタル数字でリアルタイム表示します。
- コンパクト設計 ●赤LED表示で日中でも視認性が良い
- ディマースセンサー搭載！自動調光機能で日中は明るく夜間は減光します。
- シフトアップインジケータ搭載！任意で回転数を設定できるのでナラン運転からオーバーレブ防止まで。設定値以上エンジン回転が上ると青色LEDが点灯します。設定値は何度でも上書きで変更する事が可能です。
- 電気式スピードメーター及び電気式タコメーター車に対応！

※適合車種については弊社ホームページの適合情報をご確認ください。

[https://www.protec-products.co.jp/products/spi/spi110\\_es/adap.php](https://www.protec-products.co.jp/products/spi/spi110_es/adap.php)

## セット内容

- シフトポジションインジケータ本体 × 1 ●取扱説明書(保証書付き)
- 両面テープ × 2 (1mm厚・2mm厚 各1) ※1枚は設定時の仮止め用としてご使用ください。
- 汎用接続ハーネス × 1 (No.11014に付属、No.11050には付属しません)

## 注意事項

- 本製品は12vのオートバイ(5速または6速ミッション)専用です。
- 本製品は電気式スピードメーター及びタコメーター車専用です。  
※機械式スピードメーター車に装着する場合は、別売りのNo.11015【PG-110】パルスジェネレーター スピード信号変換機を併用します。  
※機械式タコメーター車及びマイナスパルス点火の車両に装着する場合、別売りのNo.11020【PG-220N】パルスジェネレーター 回転信号発生器を併用します。
- 走行中クラッチが切れている(レバーを握っている)間は正しいギアの表示が出ませんが製品仕様によるものですので故障ではありません。
- 本製品のニュートラルギアの検出方法はマイナス導通スイッチです。ニュートラルランプスイッチがプラス方式の車両には対応致しません。
- 走行中は安全を第一に考え、前方不注意にならないようご使用ください。
- 公道において使用される場合は、交通法規を守って運転してください。
- 本製品の裏面は設定用スイッチがありますので付属の両面テープを貼り水が入り込まないようにしてください。
- 取付けの際は取扱説明書に沿って正しく取付けてください。取付け方法を間違えると火災・故障などの原因となります。
- エレクトロタップは配線に合った物を使用してください。
- 本製品の使用により生じた故障・事故などの損害については、当社で一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 修理の際に生じる脱着工賃やその他諸費用につきましては、当社で一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

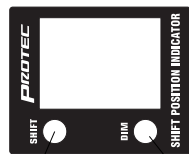
※上記以外については弊社ホームページのQ & Aをご確認ください。

[https://www.protec-products.co.jp/support/faq\\_spi.php](https://www.protec-products.co.jp/support/faq_spi.php)

## 配線図

車両メーカー発行のサービスマニュアルの配線図または、プロテックHPのシフトポジションインジケータ適合情報を参考に接続してください。  
[https://www.protec-products.co.jp/products/spi/spi110\\_es/adap.php](https://www.protec-products.co.jp/products/spi/spi110_es/adap.php)

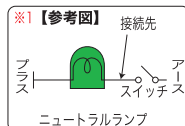
※車両側メーターハーネスと本製品の各配線をハンダで接続後、絶縁テープ処理をしてください。



- (赤) キーONで12V (+) 通電線 [ACC電源]
- (青) アース (-)
- (白) スピードメーター信号または別売りのPG-110
- (緑) ニュートラルランプのマイナス側※1参照
- (黄) エンジン回転信号※2参照

シフトアップインジケータ  
※設定したエンジン回転以上になるとブルーLEDが点灯します。

ディマースセンサー  
※周囲の明るさに応じてLEDの明るさを自動で調節します。

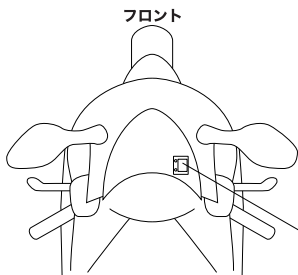


※2タコメーター信号配線または点火コイル1次側マイナスへ接続します。  
(ダイレクトイグニッション不可) タコメーターの無い車両や、機械式タコメーター車や、マイナスパルス点火の車両は別売りのPG-220Nへ接続します。

SPI 適合表  
QRコード



最新の情報を  
ご確認ください。



ギアポジション及びシフトアップインジケータの設定完了後、メーター周辺の見やすい位置に付属の両面テープで貼付けます。  
※貼付け面の油分やゴミを掃除してから貼付けてください。

## ギアポジションの設定

※ギアポジションの設定はスピードセンサーの付いているホイールを回転させて行います。

前輪にスピードセンサーの付いている車両の場合、実際に走行する必要があります。

後輪にスピードセンサーの付いている車両の場合は、センタースタンドやレーシングスタンドで後輪を路面から浮かせた状態でギアを入れてクラッチをつなぎ後輪を回転させます。

※実走行で設定される場合や、スタンドを掛けて後輪を回転させる場合は周囲の状況に十分注意して行ってください。

※ギアポジション設定時のエンジン回転は、3,000rpm以上の安定した回転数で行ってください。

各ギアごとにエンジン回転が一定でなくても設定する事が出来ます。(半クラッチ厳禁！)

例えば1速を3,000回転で設定し、2速を5,000回転で設定など各ギアごとに回転数はバラバラでも構いません。

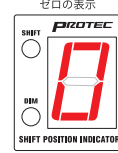
※「ドット点滅」から数字の表示に切り替わるのに、通常3～4回ドット点滅が行われます。

※ニュートラルの設定完了後、ギアを1速に入れた後、スピード信号エラーを示す「S」と左上の青LEDが点滅しますが、走行を開始またはリアホイールを回転させればエラーは消えドット点滅から「1」の表示になります。

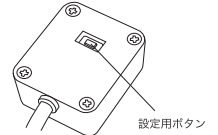
※ご不明な点やうまく設定出来ない場合は弊社ホームページのQ & Aをご確認ください。

[https://www.protec-products.co.jp/support/faq\\_spi.php](https://www.protec-products.co.jp/support/faq_spi.php)

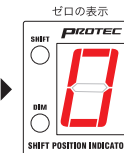
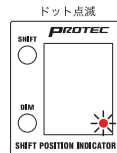
設定開始



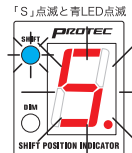
①ニュートラルギアの状態  
でイグニッションキーONにすると「0」の表示が点灯します。



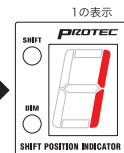
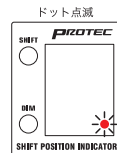
②エンジンを始動後、本体裏の設定用ボタンを3回押します。



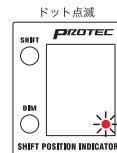
③設定用ボタンを3回押した直後「0」が消えて「ドット点滅」から再び「0」が表示されます。その後ギアを1速に入れ走行を開始します。



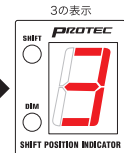
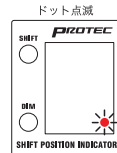
④1速ギアに入れて走行を開始するまでの間に「S」と青LEDの点滅が表示されますが、そのまま走行すればエラー表示が消え設定が開始されます。



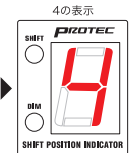
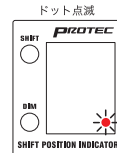
⑤走行を開始し「ドット点滅」→「1」の表示(1速)になったらギアを2速に入れます。



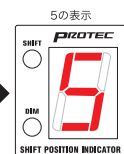
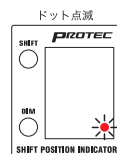
⑥「ドット点滅」→「2」の表示(2速)になったらギアを3速に入れます。



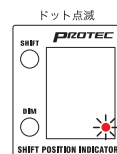
⑦「ドット点滅」→「3」の表示(3速)になったらギアを4速に入れます。



⑧「ドット点滅」→「4」の表示(4速)になったらギアを5速に入れます。



⑨「ドット点滅」→「5」の表示(5速)になったらギアを6速に入れます。



⑩「ドット点滅」→「6」の表示(6速)になったら完了です。

※5速車の場合は、4速にシフトダウンしてドット点滅から「4」が表示されて完了です。

※再設定をする場合は、一度エンジンを切り最初から行ってください。

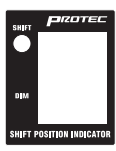
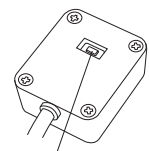
1～5または6速の設定は連続で行いますが、走行中赤信号で停車する場合、表示画面が1～4までならギアをニュートラルに入れて停車し、青信号になったら走行を開始する事で途中から設定を続ける事が出来ます。停車する直前に表示されていた数字のギアまでシフトアップします。その際途中で設定されたギアポジションの数値が表示されます。まだ設定されていないギアに入れたとドット点滅になりそのギアが設定されます。あとは残りのギアポジションの設定を連続で行います。

## シフトアップインジケータの設定

設定したエンジン回転数より上の回転になると青LEDが点灯します。

※この機能の設定は任意ですで行わなくてもギアポジション設定に影響ありません。設定の順番はギアポジション設定の前、後どちらでも可能です。

※シフトアップインジケータの設定はニュートラルギアで空ぶかで行ってください。走行しての設定はできません。



ギアがニュートラルであることを確認しエンジンを始動後、青色LEDが点滅するまで本体裏のボタンを長押しします。

設定したい回転数までアクセルを上げて戻すと青LEDが高速点滅から消灯し設定完了です。  
※設定の変更は何回でも可能ですが、リセットクリアは出来ません。

## 実走行によるギアポジションの設定方法の注意点

- ※ギアポジション設定には**スピード信号とエンジン回転信号の両方**が**シフトポジションインジケータ**に入力される必要があります。
- ※スピード(速度)センサーの装着されているホイールが回転しない状態では設定できません。  
また、**クラッチを切った状態でアクセルを開けてエンジン回転を上げて**も設定できませんのでご注意ください。
- ・スピードセンサーが前輪にある車両は必ず実走行にて設定を行ってください。
- ・走行の際は、周囲の道路状況を確認して安全に十分注意して行ってください。
- ・各ギア共に**3,000rpm以上のエンジン回転数を保ってください。(半クラッチ厳禁)**
- ・1～5または6速までの設定は途中で止めずに最後まで連続して行います。  
設定途中に赤信号で停車してしまった場合は本説明書の表面の黄色い枠の中の説明を参考にしてください。
- ・設定方法は、取扱説明書をご覧ください。

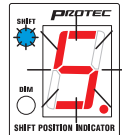
## ◆実走行以外での設定方法◆

【スピード(速度)センサー信号をリアホイールから検知している車種の場合のみ】

- ・センタースタンドまたは、レーシングスタンドを使用しリアタイヤを路面から浮かせリアホイール回転させて設定することができます。
- ※シフトチェンジ以外は、**クラッチはつながった状態**で行ってください。
- ※必ずリアホイールを回転させてください。
- ※半クラッチ状態やクラッチが滑っている状態では正しい設定が出来ません。

## ギアポジション設定時のエラー表示について

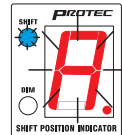
「S」点滅と青LED点滅



### スピード信号が取れていない場合、

S表示点滅とSHIFTランプ(青LED)点滅が表示されます。  
SPIの白線が車体側のスピードメーター信号線に正しく接続されていないか、スピードセンサーのあるホイールが回転していません。  
※PG-110を使用している場合はマグネットとセンサーを再調整してください。

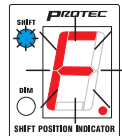
「R」点滅と青LED点滅



### エンジン回転信号が取れていない場合、

R表示点滅とSHIFTランプ(青LED)点滅が表示されます。  
SPIの黄色線が車体側のタコメーター信号線に正しく接続されていません。タコメーターに接続してもエラーが出る場合はイグニッションコイル一次側マイナスに接続してください。ピックアップコイルやインジェクターへ接続も可能です。それでもエラーが出る場合は別売りのNo.11020【PG-220N】を併用してください。

「F」点滅と青LED点滅



### スピード信号とエンジン回転信号の両方が取れていない

場合、F表示点滅とSHIFTランプ(青LED)が点滅します。  
SPIの白線が車体側のスピードメーター信号線に、SPIの黄色線が車体側のタコメーター信号線に正しく接続されていません。  
またニュートラル以外のギアに入った状態で電源ONすると「F」点滅表示になります。

※上記以外のご不明な点は弊社ホームページのシフトポジションインジケータQ & Aをご確認ください。  
[https://www.protec-products.co.jp/support/faq\\_spi.php](https://www.protec-products.co.jp/support/faq_spi.php)



シフトポジションインジケータの取付け方法、ギアポジションおよびシフトアップインジケータの設定方法はYouTubeにて動画をご覧ください。

[https://www.youtube.com/watch?time\\_continue=99&v=rTtwll\\_y5jo](https://www.youtube.com/watch?time_continue=99&v=rTtwll_y5jo)

